

「読め語の単語」① **読め語をわ**を宛てて 出題 ()

※ 今回の読め語は紫の線の上を線が通るよう書き込んでください。ねむり語のまじり書きはしないでください。

1 「**読め語をわ**」の**わ**をひらがなで書いてください。また、「読め語をわ」を英語に書いた**読め語**のまじり書きも書いてください。

2 書いた単語の中で、読め語の単語の**読め語**を英語に書いた**読め語**のまじり書きも書いてください。(単語をひらがなで書く場合)

くまのこ ま	-----
おのり	-----
たまり	-----
しんじゆ むすび	-----
あじゆ る	-----

3 「読め語の」の**読め語**をひらがなで書いてください。また、ねむり語を英語に書いた**読め語**のまじり書きも書いてください。また、「読め語をわ」後の語句も書いて、単語の中で**読め語**のまじり書きも書いてください。(単語をひらがなで書く場合)

「読み語の活動」② 最初はやっぱのしーんと読むの 氏名 ()

※ 自分で選んだ本です。まずは自分ペースで読んでみましょう。しーんと読むのは、あとに次第です。自信と責任をもちましょう。

1 私が「読み語の」として選んだ本

作品名	著者名	絵
-----	-----	---

2 私の「読み語の」の読み手は、 読者圏の仲間 (5・6歳児) と一緒に。

3 私が「読み語の」として選んだ本の理由

.....

4 自分の読み手のために、数回読み読もうと思います。しーんと読むのは、あとに自分で。その部分で、あとでわかるところを順番に決めて読みます。その読み読まぬところや、あんな面白くないところがない、単語をわたり読んでみると思います。その部分を取った本に挑戦しよう。自分のペースでやるべきです。

H 区への挑戦しよう(通読した方がいい)	H 区への部分の自分のペースでやるべき

5 「読み語の」の読み手として、読み手に選んだ本を聞いて、あとでわかるところを自分で。(しーんと読むように)。(しーんと読むように)。

- ※ 聞き手の聞き方は様々です。しっかりと目は、聞き手を大切に語る読み手になるには、どのようを読み方や感じ方があるものかしっかりと心得ておく必要があるといえます。ただし、「復し読み方や感じ方」だけでなく、「回し読み方や感じ方」にもなる聞き手があります。反響の読み方を指して、①一人で読むことの4のステップ、次の【語り手の例】を参考に、聞き手の立場や読み手の立場に立ちながら互いの読みを促したの探めたりしていきます。
- ※ 次に示すのは【読み探めしてのポイントや具体的な台詞例】です。しっかりと感じたり聞いたりして語り合ったりする、しっかりと聞き合ったりして探めたりしていきましょう。

【内容の中心について知るために】

・「この作品は、何と何の○○○について話したけれど、□□のほうの話の中心を語るので、扱われた内容を×××です。」

【表現の仕方やその効果について知るために】

・「回しめいたが語り手が繰り返されるのほうのことかな。」

・「この本は言葉遊びだね。その面白さを大切にしようかな。」

・「感情を表す言葉が多いよね。」別の語り手あつて、「感情を表す言葉が少ないよね。」だから

なまを語り合え、扱われた内容を×××です。

【語感をめかす豊かにしていくために】

・共通している言葉には多層的な意味のほかに、その言葉から読み取れる、おたけら・おたけらなまの感じや、聞き手に思いやり取り取られる感じが、豊かや印象があるはず。これを語感と言います。自然読みたにも注意が必要といえることでもあります。しっかりと語感を大切にしたら、聞き手を語り合え、×××と探めたり。

【聞き手に、あなたの思いを伝えたいために工夫を台詞に】

- ・ 感嘆 → 「聞いてくれる人は初めて聞いたよね、だから。」
- ・ 語感 → 「その言葉、聞いた感じがちょっと×××と違う気がするね。おもしろく感じようよ。」
- ・ 問 → 「それはおもしろい」「問」を取った方がいいんじゃないかな？
- ・ 相違 → 「いろいろと違ってたから、前はおもしろいけど、今は×××と違って。」

なまを語り合え、扱われた内容を×××です。

「読み語の活用」③又中甲 区選し読み各語の 出知 ()

※ 語句各のいふ読み語を誤用する例を今甲乙に難い。たれは難い読み語各
うた中甲のたれいふたれを困るべし。語句各のたれ一ローヤルトハ
又中甲うたれいふ。難い各のたれ又中選感のたれいふたれ。各の読み語をたれ
甲乙にたれいふたれ十たれ。

1 【区選のたれをたれするたれ】

-
-
-

2 【表現のたれを大切にしたたれ部分】

-
-
-

3 【語感大切にたれ部分】

-
-
-

4 【読み語にたれたれ各のたれをたれたれ、いふたれ各のたれいふたれ】

-
-
-
-
-
-
-
-

「読み語の活動」④ **自分の思いを伝えるために** 氏名()

※ 今回の授業は読み探めの最終段階です。友達の読み力を借りに読み広げられ深められた読みを、**自分に思い直し、自分にとって最も大切な因縁をお伝え、他の誰でもなく自分の読めを自信をもって読みあげよう。**

1

【これまでの活動を通して、「あなたが選んだ作品のもっとしるゆえや筆者の思い」を、あなたはどうしついに書きたか】

【右に書いたあなたの思いを、聞き手（園児）に効果的に伝えるために、あなたはじつをいのものに読めたりと考え書きたか】（聞き手をイメージして、空欄をつめるかたはに書きたいねん）

課題 1

----- (まじりまじり)を

聞き手が

(聞き手は)

聞き手は聞いて、

(聞き手は聞いて)

聞き手は。

課題 2

----- (まじりまじり)を

聞き手が

(聞き手は)

聞き手は聞いて、

(聞き手は聞いて)

聞き手は。

課題 3

----- (まじりまじり)を

聞き手が

(聞き手は)

聞き手は聞いて、

(聞き手は聞いて)

聞き手は。

2 1の書き込みが済んだらグループで「読み語の」の練習をしよう。おもしろい**記述内容を自分自身で大切にしながら**にです。

グループの聞き手の人は、聞き手が課題に対していついうまや努力したにか、聞き終わった後、感想を伝えよう。また、おもしろいところをいじりながらあつたら伝えよう。

「読み語りの活動」⑤「読み語り」をやってみよう（ ）

※ 「読み語り」しよつちをわらした。で、やってみようたつたかな。一めんがむん
な気持ちで読んでいたが、そつちやの終えしよつちもつたかを知りたつたので、思つち
を筆画に書つちた。

◎「読み聞かせ」を聞いたから、一人読み、友達と読み、一人のまゝ読み読み聞かせ
いた時…。

Blank writing area with horizontal dashed lines for notes.

◎「読み語り」を実際に行った時、その後…。

Blank writing area with horizontal dashed lines for notes.

☆この欄は、個人的に「読み語り」の場を設けて行った人の欄です。あなたの「読み語り」
を聞いて下さつた方に、感想を書つちてもらつちたい。

Blank writing area with horizontal dashed lines for notes.

「読み語の活動」⑤「読み語の」をやつしめん 出如 ()

※ 「読み語の」いんめいおきじつだ。し、やつしめんめいじつたわなひ。めいじつたわなひを
なげきわしきとじつたわ、まじつやのまじつめいじつたわを知らじつたわ、めいじつたわ
をまじつたわにまじつたわ。

◎「読み語かせ」を聞いたから、一人読み、友達と読む、一人のせいで読むと読む読めし
いた時…。

◎「読み語の」を實際に行った時、その後…。

☆友達の「読み語の」を聞いた時の感想を、ぜひ書いてください。
